

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は 2017 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは 1 1 本以内で長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は 1 2 mm 以下とする。
- 2) 更衣室は入り口右手の更衣室を使用すること。また、荷物は各大学で責任をもって管理すること。盗難・紛失について主催者で受領した物品については学連本部で一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、大会中の忘れ物は本連盟にて 1 ヶ月保管した後、申し出のないものについては処分する。忘れ物の申し出はメールにて問い合わせること。
- 3) カメラやビデオなどでの撮影は許可のないものはスタンド以外禁止とする。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。
- 4) 競技会において競技者はビデオ、音楽機器、ラジオ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込んで서는ならない（競技規則 1 4 4 条）。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは学連登録ナンバーを胸部と背部に確実に着けること。ただし、跳躍種目についてはどちらか一方でもよい。
- 2) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近にて係員に返却すること。

4. 招集について

- 1) 競技者招集所は 100m スタート付近に設置する。
- 2) 招集時間は下記の通りとする。

	招集開始	招集完了
トラック	競技開始 40 分前	20 分前
フィールド	競技開始 50 分前	30 分前

- 3) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- 4) リレーオーダー用紙は主催者が用意したものに限る。リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を競技開始 6 0 分前までに競技者係に提出すること。

5. 棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は棄権届（招集所に用意、ホームページに掲載）に必要事項を記入し、捺印をしたものを競技者係に提出すること。ただし、棄権届を提出せずに欠場した場合は、その競技者の本大会での他種目への出場を認めず、今後の大会等にペナルティを与えることがある。招集に遅れた場合もこれに順ずる。

6. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、検定に合格したものに限り、個人所有のものが使用できる。検定は、競技開始 6 0 分前から、招集所にて行う。

7. ウォームアップについて

ウォームアップは、開門から競技開始20分前まで競技場内で行うことができる。これ以降は競技の妨げとならないことを条件にバックストレートでのウォームアップを認める。ただし、芝生内でのウォームアップは大会運営に支障が出るため、禁止とする。また、競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

競技について

1) 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。

2) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目	練習A	練習B	1	2	3	4	5
男子走高跳1組	1m60	1m80	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85
男子走高跳2組	1m80	2m00	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01
女子走高跳	1m40	1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63
		6	7	8	9	10	
		1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	以後3cm
		2m04	2m07	2m10	2m13	2m16	以後3cm
		1m66	1m69	1m72	1m75	1m77	以後2cm

第1位決定試技の際のバーの上げ下げについて、走高跳は2cmとする。

第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

3) 投擲競技について

競技運営上、砲丸投を除く投擲競技において投擲練習は1人2投までとする。

ただし、審判員の指示があった場合はそれに従う

4) 計時・計測について

トラック競技の計時は、写真判定機を用いて行う。(1/100秒)

5) 男女100m、100mH、110mHの決勝レースについて

予選の結果、タイムレース上位16名（ハードル走については8名）の選手は、決勝レースに出場する権利が与えられる。出場の可否を競技開始50分前までに大会本部に申し出ること。権利を放棄する選手が現れた場合は17番目以降（ハードル走については9番目以降）の選手が繰り上がる。いずれも、競技開始50分前までに大会本部にて出走の意志を申告すること。繰り上がりの選手はアナウンスと記録掲示板で連絡するため各自注意して確認すること。決勝レースの招集はスタート付近にて最終点呼のみ行う。

6) ピットについて

男子走幅跳のピットの位置は、1組をAピット（スタンド側）、2組をBピット（トラック側）とする。

男子走高跳のピットの位置は、1組をAピット（ホームストレート側）、2組をBピット（バックストレート側）とする。

8. 応急処置について

競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、2017年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

9. 抗議と上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、規則第146条に基づきその競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内（次ラウンドのある場合は15分以内）に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は抗議申立書と委託金10,000円を添えて上訴する。この委託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

10. 競技場の清掃について

各大学で出たゴミは各自で持ち帰り、使用した場所は清掃して帰ること。また、競技終了後、至学館大学は当番校として担当者2名を大会本部に集合すること。

11. 競技場の開門について

競技場の開門時間は7時00分とする。

以上の事柄および今大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合もあるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。